

# 世界各地から日食中継

月の際に入ること太陽が見えなくなる「日食」。皆既日食や金環日食があるが、世界各地からインターネットで中継した「ライブ!ユニバース」が第六回インターネット活用教育実践コンクールで総務大臣賞に輝いた。本報は東京だが、会長を和歌山大学の尾久正己教授が務める。これまで日食を中心に、しし座流星群など二十一回にわたり世界各地から中継、学校教育現場での利用や、テレビへの映像配信といった活動が評価された。尾久正己会長は「世界でも継続して日食を中継しているのはうちだけだが、公の場で評価されたのは初めて」と喜んでいる。

ライブ!ユニバースは、一九九七年にエンコ・ライブを中継し、〇二年はボツワナとオーストラリアからの映像を東京の小学校の授業に活用、また、ネットの中継の技術者放逐関係者らで結成した中継チームが母体以来、「ライブ!エクリプス」・レオニス実行委として、日食や月食、流星群があるたび実行委を組織し、南米、カリブ海の皆既日食、マレーシア金環日食、しし座流星群、皆既月食など、日食を中心にネットの中継してきた。

## ネット活用で総務大臣賞

〇二年はシシ座流星群が、た、テレビ局にも配信し、見られるのは地球上の限られた地点。「場所、日食マレーシア金環日食、しし座流星群、皆既月食」を中継した。三カ月後に実行委形式で五年間活動した後、恒常的に活動する基盤を作ろうと、〇二年六月の太平洋金環日食の申請から天文や宇宙科学に関する様々な現象、イベントをネットを通じて世界に紹介する「ライブ!ユニバース」を発足させた。会長は当初、尾久正己が、中継時は百人から二百人のチームを組織する。



皆既日食(イメージ)

「自分の土地で見られるのは三、四百回に一度だけ。見たければ、そこに行くのがいい。研究の海外旅行」。言葉にできない、まさに食を見たことがある人。私も「日食病」に感染しているが、ました」と笑う。

その感動を世界に伝えようと中継を続けてきた。今、一連の取り組みが「インターネット活用教育実践コンクール」で評価された。「学校教育」「社会教育」「調査」の三部門に全国から六十件の応募があり、総務大臣賞に次ぐ総務大臣賞に輝いた。

尾久正己会長は「一回の中継に数万円かかる事業。様々な分野の専門家が見たくなり、九八年にマレーシアに出かけ金環日食に感動。「皆既はもっとすごい」と言われ、九九年にドイツに出かけたが雨に降られて見ることができず、二〇〇一年には三月二十九日水には、



ライブ!ユニバースを率いる尾久正己会長

アメリカから中央アジアにかけて観測できる皆既日食を予定で、尾久正己会長はシシ座流星群から中継する。だが、今回は東部のブラネタリウムに空一面を再現する予定で、尾久正己会長はシシ座流星群から中継する。なお、ライブ!ユニバースは実行委時代から二年で十年を迎えるが、の区切りとして〇九年七月に尾久正己会長から種子島で観測できる皆既日食を田辺のビッグDにある中継をゴールに考えている。

### 29日和大に日食カフェ

和歌山大学は和歌山市栄谷の同大GRIK1食堂に二十九日午後六時から日食カフェを開く。四角のスクリーンで中継映像を見ながら太陽研究の専門家の話を聞ける。また、ライブ!ユニバースのコにらんだ日食メニューが提供される。

飲食費は五百円(参加無料)。皆既日食の瞬間は七時止。問い合わせは和歌山大学自主研産科学センター(073-457-8502)。

更でできない。自分の土地で見られるのは三、四百回に一度だけ。見たければ、そこに行くのがいい。研究の海外旅行」。言葉にできない、まさに食を見たことがある人。私も「日食病」に感染しているが、ました」と笑う。

その感動を世界に伝えようと中継を続けてきた。今、一連の取り組みが「インターネット活用教育実践コンクール」で評価された。「学校教育」「社会教育」「調査」の三部門に全国から六十件の応募があり、総務大臣賞に次ぐ総務大臣賞に輝いた。

尾久正己会長は「一回の中継に数万円かかる事業。様々な分野の専門家が見たくなり、九八年にマレーシアに出かけ金環日食に感動。「皆既はもっとすごい」と言われ、九九年にドイツに出かけたが雨に降られて見ることができず、二〇〇一年には、